

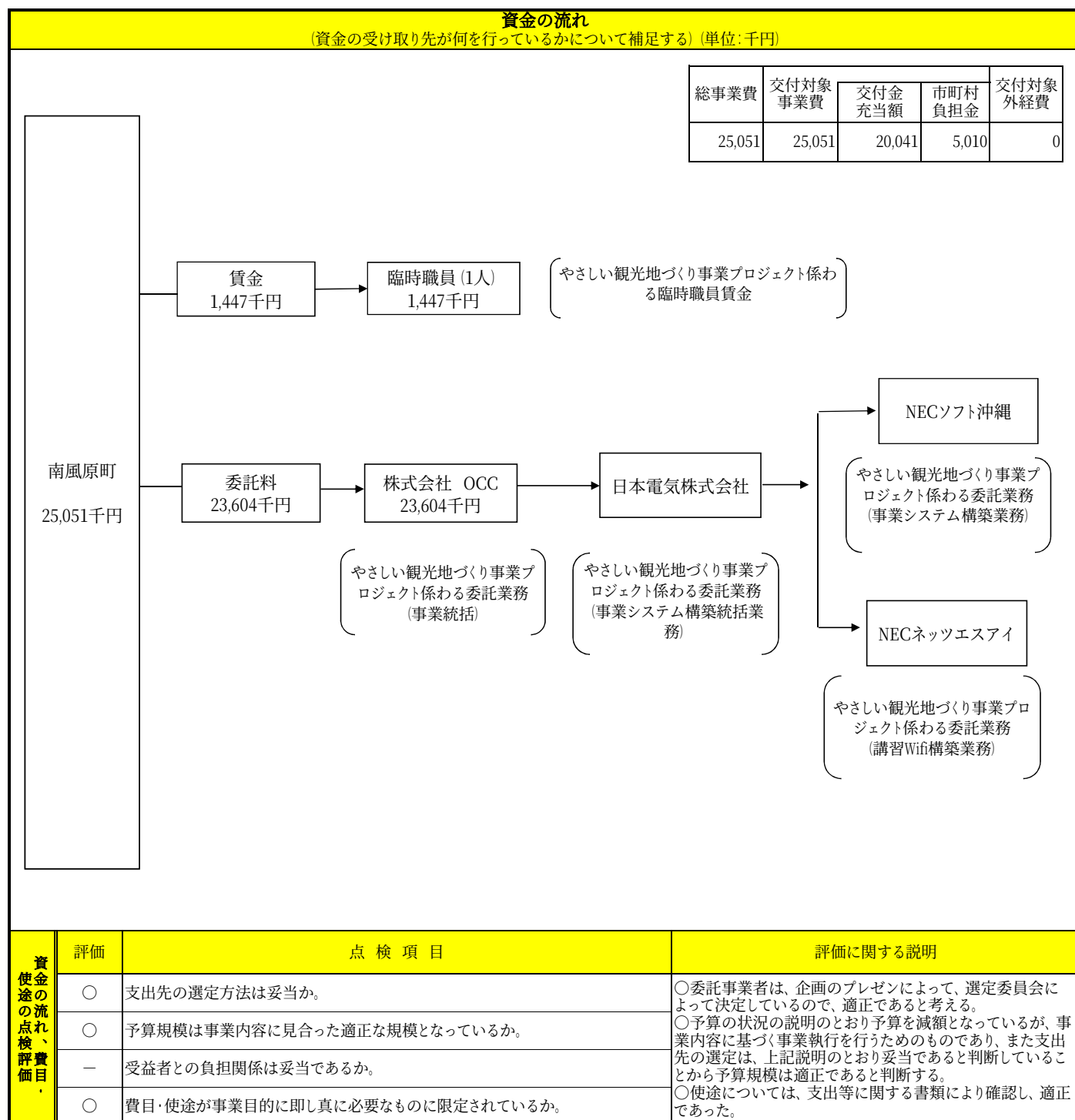
市町村名	南風原町						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	児童生徒健全育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 III-3-(1)	
事業内容	怠学や問題行動・暴力行為等の不登校生徒の居場所として自立支援教室を設置、専任の指導員を配置し、よりきめ細やかな対応、均等な学習指導を行なう。また、怠学等の児童生徒の校外指導を行うため校外指導員を配置する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 ■その他（工事）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	16,159	—	6,933	—	
		(b)予算現額	16,159	—	17,936	—	
		(c)増減額(b-a)	0	—	11,003	—	
		(d)繰越額	—	6,479	—	6,911	
		A. 計(b+d)	16,159	6,479	17,936	6,911	
	B. 執行済額		8,902	6,479	10,566	6,911	
	うち交付金充当額		7,121	5,183	8,453	5,528	
	次年度繰越額		6,479	—	6,911	—	
	執行率(%) (B/A)		55.1%	100.0%	58.9%	100.0%	
予算の状況の説明		自立支援教室設置工事において、教室の設置場所について学校側との調整に日数を要したため、監理委託費と工事請負費を次年度へ繰り越した。 当初計画していた事業内容は全て実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	自立支援教室指導員(中学校)	目標	(2人)	(2人)	()	()	
		実績	2人	2人			
	生徒校外指導員(中学校)	目標	(3人)	(6人)	()	()	
		実績	3人	6人			
	登校支援員(小中学校)	目標	(2人)	(2人)	()	()	
		実績	2人	2人			
達成状況説明	・自立支援教室指導員(中学校2人)、生徒校外指導員(中学校3人)、登校支援員(小中学校2人)の配置、不登校生徒の居場所として南風原中学校に自立支援教室を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	自立支援教室指導員(中学校)	目標	()	(2人)	(2人)	()	()
		実績		2人	2人		
	生徒校外指導員(中学校)	目標	()	(3人)	(6人)	()	()
		実績		3人	6人		
	登校支援員(小中学校)	目標	()	(2人)	(2人)	()	()
		実績		3人	2人		
	進捗状況説明	・怠学や問題行動・暴力行為等の防止支援、指導員配置とともに町内全中学校に自立支援教室を設置することができた。それにより、不登校生徒達の居場所作りに資することができた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・自立支援教室の設計段階で、設置場所について学校との調整に時間がかってしまい、全体的に工期がずれてしまった。 ・登校支援員の配置数は、小・中学校あわせて6校に対し、2人の配置 (3校を1人で対応する) する計画であった。しかし、登校支援員に対する、学校からの要望が多く、配置した2人の支援員では対応できない等の問題が生じた。	・学校側との連絡・調整をしっかりと行い、年度内に工事を終わらせるよう努める。 ・学校やPTA等と情報交換を行いながら、指導員や支援員の採用人数を再度検討していく。
今後の取り組み方針		
・引き続き自立支援・生徒校外指導員や登校支援員を適正に配置し、不登校の生徒達の支援に努める。配置人員と関係職員との十分な情報共有、PTAや地域住民との連携についても検討していくことで、よりきめ細やかな対応を行っていく。配置人数や勤務時間等については今後も適宜学校と調整を行いながら運用していく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
南風原町 17, 477千円 賃金 2,364千円 中学校 自立支援指導員 (2人) 〔 自立支援指導員賃金 〕 報償費 3,031千円 生徒校外指導員 (6人) 1,642千円 〔 生徒校外指導員報償 〕 登校支援サポーター (4人) 1,389千円 〔 登校支援サポーター報償 〕 委託料 1, 995千円 赤嶺企画設計室 1, 995千円 〔 南風原中学校自立支援教室増築工事設計監理委託にかかる委託業務 〕 工事請負費 10, 087千円 株式会社 秀建工業 10, 087千円 〔 南風原中学校自立支援教室増築工事にかかる工事業務 〕				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		17,477	17,477	13,981
				市町村負担金
				3,496
				交付対象外経費
				0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業者は町登録名簿から選定し、指名競争入札を行っていることから選定方法、予算規模ともに妥当であったと考えている。 ・費用・使途については事業目的の達成の観点から、適正であったといえる。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	南風原町						
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③ やさしい観光地づくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2) ウー		
担当部課名	経済建設部産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成		
					III-1-(1)		
事業内容	滞在型ツアーなど観光客が求める情報提供を行うため、観光パンフレット等の紙媒体とスマートフォンを連携し、興味喚起からの現地の誘導までをワンストップで提供する。野外ホットスポット(Wi-Fiアンテナ)を建て、スムーズな情報提供を行うことで、町独自の観光案内システム(アプリケーション)製作を、地域における滞在性の向上を目的として実施する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	29,265	31,549	-		
		(b)予算現額	29,265	25,467	-		
		(c)増減額(b-a)	0	▲6,082	-		
		(d)繰越額	—	—	19,856		
		A. 計(b+d)	29,265	25,467	19,856		
	B. 執行済額		28,388	5,395	19,656		
	うち交付金充当額		22,710	4,316	15,725		
	次年度繰越額		0	19,856	-		
	執行率(%) (B/A)		97.0%	21.2%	99.0%		
予算の状況の説明		・当初予定していた観光プロモーションを、委託せず独自で実施したことにより、▲6,082千円の減額を行った。また当初月中旬に事業完了予定でしたが、4月からの消費税増税の影響で、資材の需要が高く、資材調達に日数を要したため、19,856千円を次年度へ繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・観光プロモーション実施	目標	(3回)	(実施)	()	()	
		実績	3回	実施			
	・無線インフラ(公衆Wi-Fi)設置	目標	(2箇所)	(6箇所)	()	()	
		実績	2箇所	7箇所			
	・観光ポータルサイト及びAR運用	目標	(観光サイト、アプリ制作:1サイト)	(観光ポータルサイト及びAR運用)	()	()	
		実績	観光サイト、アプリ制作:1サイト	観光ポータルサイト及び観光アプリの改善・強化			
	達成状況説明	・町内に新たに7箇所、Wi-Fiアンテナを設置した(屋外5箇所、屋内2箇所)。 ・観光ポータルサイトの改善や機能強化行った(はえるんページの追加、デザインの変更等)。 ・観光アプリの機能強化、機能追加を行った(デザインの変更、登録スポットの追加等)。 ・観光プロモーションは委託せず、独自に実施した。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度
・観光プロモーション実施		目標	(0人)	(3回)	(実施)	()	()
		実績		3回	実施		
・無線インフラ(公衆Wi-Fi)設置		目標	()	(2箇所)	(6箇所)	()	()
		実績		2箇所	7箇所		
・観光ポータルサイト及びAR運用		目標	()	(観光サイト、アプリ制作:1サイト)	(観光ポータルサイト及びAR運用)	()	()
		実績		観光サイト、アプリ制作:1サイト	観光ポータルサイト及び観光アプリの改善・強化		
進捗状況説明		・町内に新たにWi-Fiアンテナを設置したことにより、Wi-Fiの接続数が増加した。 ・観光ポータルサイトの改善や機能強化行ったことにより、最新の情報を発信しやすくなり、閲覧する人も利用しやすくなった。 ・観光アプリの機能強化、機能追加を行ったことにより、利用者が使いやすくなり、より多くの人に使ってもらえた。 ・町の物産展等のイベントにおいて、来場者に対してプロモーションを実施したことで、南風原町の知名度の向上に繋がった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化) ・観光客への興味喚起から現地誘導までをワンストップで提供するため、Wi-Fiスポットを整備しスムーズな情報提供を行い、町独自の観光案内システム(観光アプリ)の整備を行った。 ・資材調達に日数を要したため、19,856千円を繰り越したが、活動目標・成果目標ともに当初の目標を達成している。 ・無線インフラ(Wi-Fi)整備を行っているが、住宅の屋根や、高台などの影響により、電波が弱い又は届かないエリア(不感地帯)も存在する。 ・南風原町の観光情報の発信のため、観光サイトの閲覧数や、観光アプリのダウンロード数を増やしていかなければならない。	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点) ・電波調査を基に、不感地帯へのWi-Fiアンテナ増設を検討する。 ・最新の情報を常に発信することや、観光アプリのPRを行うことで、閲覧数やダウンロード数の増加を図る。
	今後の取り組み方針 ・今後更に、情報化社会となり、通信技術が観光に大きな影響をもたらすと予想される。そのために、情報通信の基盤整備を行い、同時に南風原町の観光情報を発信していく。 ・不感地帯を減らし、観光客が公衆Wi-Fiを利用しやすくするため、Wi-Fiアンテナの増設する。 ・常に新しい情報を発信し、観光客の興味喚起を図るため、観光ポータルサイトの運営、ARアプリのPRを行う。	



市町村名	南風原町						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧	南風原町地域農業活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部署名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成		
事業内容	本町では、以前から夏野菜の代表であるヘチマの栽培が盛んで、生産量は毎年県内の上位に位置している。しかし、野菜、花卉、果樹等の露地栽培では、本県特有の気象条件(台風、長雨、干ばつ等)病害虫、鳥獣等による被害が後を絶たず安定供給の妨げになっている。それらの被害、影響の軽減を図る為、耐候性施設(強化型パイプハウス)を設置する経費に対し補助を行い、今後のヘチマの品質向上と安定供給を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	21,519	—	18,262	—	
		(b)予算現額	21,519	—	18,262	—	
		(c)増減額(b-a)	0	—	0	—	
		(d)繰越額	—	21,484	—	18,262	
		A. 計(b+d)	21,519	21,484	18,262	18,262	
	B. 執行済額		0	19,760	0	15,600	
	うち交付金充当額		0	15,808	0	12,480	
	次年度繰越額		21,484	—	18,262	—	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	92.0%	0.0%	85.4%	
予算の状況の説明		農用地の利用権設定において地権者との調整等において不測の日数を要したこと、県内において同様の事業発注が集中し、施設資材の入手と労務者の手配調整に不測の日数を要したため事業繰越となった。事業完了により不要額2,662千円が発生しているが、設置工事費の入札残による補助金(変更)確定による減である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	強化型パイプハウス設置補助	目標	(5件)	(3件)			
		実績	5件	3件			
		目標	()	()			
		実績					
達成状況説明	圃場、3カ所に6棟の強化型パイプハウスの設置工事が完了された。事業主体であるJAおきなわの完了検査に立ち会い、工事が適正に行われたことを確認し、事業主体への補助金を8月に交付し事業を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	強化型パイプハウス設置件数	目標	()	(5件)	(3件)		()
		実績		5件	3件		
		目標	()	()	()		()
		実績					
	進捗状況説明	3件、6棟(2,994㎡)の強化型パイプハウスを設置し、目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	沖縄県特有の天候や気象条件の被害軽減を図る為、露地栽培から施設栽培への移行を推進し施設導入に取り組んだ。しかし農用地の利用権設定において地権者との調整等においてメンバー1名の入れ替えもあり不測の日数を要したこと、県内に置いて同様の事業発注が集中し、施設資材の入手と労務者の手配調整に不測の日数を要し事業を繰り越した。	農家選定において、農地の所有権の状況や地権者の利用権設定の意思の確認、把握に努めることと、事業着手を早期の行うよう事業主体に促す。
今後の取り組み方針		
・生産農家や指導機関である営農センター等の関係機関である現場の声を事業に活かし、積極的に施設導入し、事業を推進していくことで災害に強く、安定的な生産・供給につなげることを支援する。 ・事業要望調査の表を作成し、農地の所有権等の事業対象条件の確認に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>21,060</td><td>15,600</td><td>12,480</td><td>3,120</td><td>5,460</td></tr> </table> 南風原町 15,600千円 補助金 15,600千円 沖縄県農業協同組合 15,600千円 強化型パイプハウス新築工事費への補助 設置者個人負担分 (交付対象外経費) 5,460千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	21,060	15,600	12,480	3,120	5,460
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
21,060	15,600	12,480	3,120	5,460										
資金の流 使途の点 検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先であるJAの農家に対する支援及び指導能力、事業実績を勘案し妥当だと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○施工業者は、事業主体であるJAが指名競争入札により低価格者を選定しており、選定方法及び価格は妥当だと考えている。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者分として設置者個人負担は妥当だと考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○補助金は、全て設置工事費として支払われており適正である。											

市町村名		南風原町							
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		2-⑨ 農業生産体制強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-エ		
担当部課名		経済建設部 都市整備課		事業実施 (予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保 及び経営安定対策等の強化		
事業内容		農産物の生産体制の強化を図る上で作物の安定供給並びに品質確保は欠かせない要素である。道路の凹凸による荷崩れを防止し、生産分の品質向上を図る為にアスファルト舗装を施工するとともに、耕作地への歩行並びに運搬車両の安全性を確保するため、防護柵を設置し、環境整備を図る。							
実施方法		☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	
		予算 の 状 況	(a)当初予算額	10,000	30,000	—			
			(b)予算現額	10,001	34,245	—			
			(c)増減額(b-a)	1	4,245	—			
			(d)繰越額	—	—	4,562			
			A. 計(b+d)	10,001	34,245	4,562			
		B. 執行済額		10,001	29,655	4,302			
		うち交付金充当額		8,000	23,724	3,441			
		次年度繰越額		0	4,562	—			
		執行率(%) (B/A)		100.0%	86.6%	94.3%			
予算の状況の説明		・未整備である農作業道の整備を必要とする箇所が生じたため事業費の増額を行った。 ・本施工箇所でのサトウキビ収穫時期と重なり、工事発注が遅れ次年度へ繰越となった。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。							
活動目標 (指標) 及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度		
		防護柵延長	目 標	(—)	(1,085m)	()	()		
			実 績	—	1,085m				
		舗装延長	目 標	(—)	(72m)	()	()		
			実 績	—	72m				
		[H24活動目標] 農産物の荷崩れ防止対策の実施 ・未舗装道路(720m)→アスファルト舗装(720m)		目 標	(720m)	(—)	()	()	
		実 績	720m	—					
達成 状況 説明	農産物の未舗装道路の粉塵による生育不良や、道路の凸凹による生産物の荷崩れを防止するため、既設の未舗装道路にアスファルト舗装を実施し、耕作地への歩行及び、運搬車両の安全性を確保するため防護柵設置を行った。								
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
		防護柵設置率	目 標	(0m)	(—)	(100%)	()	()	
			実 績		—	100%			
		道路舗装整備率	目 標	(0m)	(—)	(100%)	()	()	
			実 績		—	100%			
		[H24活動目標] 農産物の荷崩れ防止対策の実施 ・未舗装道路(720m)→アスファルト舗装(720m)		目 標	()	(720m)	(—)	()	()
				実 績		720m	—		
進捗 状況 説明	・未舗装道路にアスファルト舗装をしたことにより、粉塵による農産物の生育不良や、道路の凸凹による生産物の荷崩れを防止する事が出来た。 ・防護柵を設置したことにより、歩行者及び車両の河川等への転落を防止することが出来る。								

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	○本事業で舗装及び防護柵の整備を行った農道は整備前、道路に雑草が生い茂り、降雨による路盤の浸食で道路に凸凹があり、農作物運搬時の荷傷みや畑への粉塵による農産物の生育不良があった。また、河川側に防護柵がないことや凸凹道路の影響もあり、車両等の河川への転落の恐れがあった。そのため、本事業において舗装敷設72m及び防護柵設置1,085mの整備を実施したことで、車両通行等の安全を確保でき、活動目標、成果目標ともに達成することができた。	○舗装を整備したことで農作物運搬時の荷傷みや、畑への粉塵の防止になった。また、河川側に防護柵を整備したことで、河川への転落を防止し、安全性を確保することができた。その結果、車両の走行がしやすくなり生産物の品質向上及び安定供給が図れた。
成果		
○町の維持管理にて除草作業等を行い、歩行者や農産物を運搬する車両の通行の安全を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		33,957	33,957	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		27,165	6,792	
南風原町 33,957千円 委託費 1,055千円 (財) 経済調査会 沖縄支部 55千円 株式会社 興洋エンジニアリング 1,000千円 農道整備にかかる委託業務 農道整備にかかる委託業務 工事請負費 32,902千円 有限会社 新八土建 26,752千円 有限会社 環境クリーン開発 6,150千円 農道整備にかかる工事 農道整備にかかる工事				
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先の選定方法については工事請負業者については指名競争入札により選定し、130万円以下の委託業務については、本町契約規則により、3社見積もりによる随意契約を行っており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○沖縄県農林水産部監修の設計積算要領により設計及び整備をおこなっており予算規模は事業内容に見合った適性なものと判断する。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	南風原町									
平成 2 5 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	2－⑱		南風原町観光PR促進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－3－(2)－ウ	
担当部課名	経済建設部 産業振興課			事業実施 (予定) 年度	平成 2 5 ～ 3 3 年度			沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	南風原町のイメージキャラクターを観光PRツールとして有効活用し、各種イベントや、マスメディアへのPRを始め、観光施設・町民交流スポットなど、町内外においてPR活動を行っていきます。さらに、南風原町の観光振興に繋がると共に町内の観光情報を一元化するため、観光案内所をつくる。									
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他（ ）									
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	25年度（繰越）	26年度	27年度	28年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	59,688	-						
		(b) 予算現額	52,597	-						
		(c) 増減額(b-a)	▲ 7,091	-						
		(d) 繰越額	0	10,674						
		A. 計(b+d)	52,597	10,674						
	B. 執行済額		41,032	10,350						
	うち交付金充当額		32,825	8,280						
	次年度繰越額		10,674	-						
	執行率（％）(B/A)		78.0%	97.0%						
予算の状況の説明		・当初事業申請時に計画していた事業の見直しや入札残により▲7,091千円の減額を行った。また、既存の休憩所を観光案内所として活用するための改修工事について資材の期間内入手が困難となり、不測の日数を要したため次年度へ繰越した。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。								
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標 (指標)			達成状況						
					25年度	25年度	26年度	27年度		
	はえるんフェスティバル2013開催	目 標	(来場者3, 000人)	()	()	()	()			
		実 績	来場者 10, 000人							
	はえるん出動	目 標	(8回／月 8月～3月)	()	()	()	()			
		実 績	13回／月							
	南風原の酒製作住民投票による選定会	目 標	(開催)	()	()	()	()			
		実 績	投票1回209票 試飲3回241票							
	地域活性化関連グッズ(はえるん)等の開発	目 標	(開発)	()	()	()	()			
		実 績	はえるんと野菜の友だち7体 製作・イベント用配布グッズ製作17種							
休憩所を改修し、観光案内所をつくる	目 標	(完了)	()	()	()	()				
	実 績	完了								
達成状況説明	・はえるんフェスティバルの開催は県内のキャラクターや観光事業所等の交流の場になった。 ・はえるんの認知度を町内から広めていくため、無認可保育園や幼稚園、学童保育などの巡回を行った。 ・南風原の酒を町民で選出するため、試飲会も行い、最終は住民投票で決定した。 ・関連グッズを製作し、イベントや観光事業でアンケート収集するために活用した。はえるんと野菜のともだちの製作をすることによって、はえるんだけでは伝えられなかった、食育にも携われるようになった。 ・南風原町の観光情報を一元化して宣伝案内できるような施設づくりができた。									

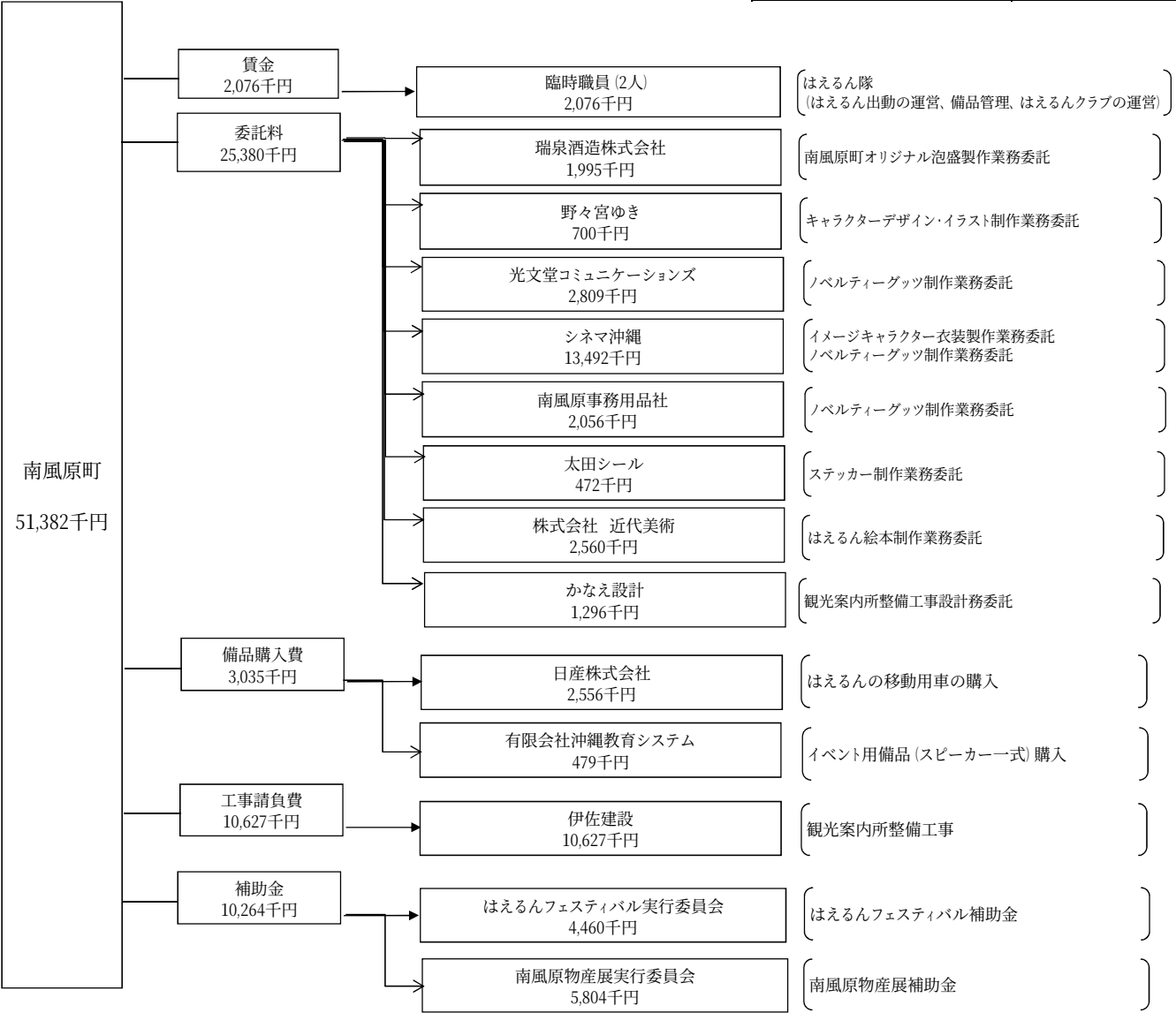
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標 (指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	はえるんフェスティバル2013開催	目 標	()	(来場者 3,000人)	()	()	()
		実 績		来場者 10,000人			
	はえるんを中心とした物産展や運動会等を行う。	目 標	()	(物産展や運動 会等の実施)	()	()	()
		実 績		・物産展(11,000人) ・はえるんフェスティ バル(運動会)の開催			
	南風原の酒製作	目 標	()	(酒製作1種)	()	()	()
		実 績		酒製作2種			
	イベント来場者へのグッズ配布 ・美瓜の大逆襲・・・2,000人来場 ・はえるんフェスティバル・・・3,000人来場	目 標	()	(イベント来場者 へのグッズ配布)	()	()	()
		実 績		・美瓜の大逆襲3,000人来 場 ・はえるんフェスティバ ル10,000 人来場			
	観光案内所整備の完了	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
	進 捗 状 況 説 明	・はえるんフェスティバルの開催によりはえるんの認知度が上がり、南風原の特産品の宣伝になった。 ・はえるんの町民認知度が上がり、沖縄県外のイベントにも出動するようになり、特産品や観光情報の発信につながった。 ・南風原の酒は古酒と新酒が生まれ、町内のスーパーの店頭に並ぶようになり、需要も安定している。 ・関連グッズを配布する際、アンケートなどを回収し、南風原町の現状を把握したり、農作物のニーズを把握するため利用している。さらに、はえるんク ラブの会員になってもらい、口コミやメール等で町の宣伝をしている。 ・南風原物産展を毎年開催することで、事業者の新規商品の提案など事業者と商工会との連携がうまくいっている。					

取 組 の 検 証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・はえるんと野菜のお友だちの出演依頼が多く、7人のアクターを確保するのに苦労している。 ・観光案内所の開設を町内外に発信しなければならない。 ・観光案内所の周辺がまだ未整備であり、観光客の受入環境としては望ましくない。	・職員等に対応し、少人数でも南風原の宣伝ができるよう、内容構成を変更できるように、プログラム化したい。 ・観光案内所を交流の場として活用してもらうため、椅子やテーブルを設置し賑わっている観光案内所になるようにする。 ・観光案内所に誘導できる駐車場、休憩所やイベント活用出来る芝を張ることで、観光客が立ち寄りやすい周辺環境を作る。
今後の取り組み方針		
・観光案内所をつくり、観光情報の一元化を図り、観光客のニーズに対応した場所にしていく。外国人対応案内所として対応できるよう、県の人材育成事業登録も 行っていく。 ・観光案内所の隣をバスが駐車できるスペースを作り、周辺に芝を張ることで、休憩所やイベントとしても活用出来るスペースにする。 ・これからも、はえるんの認知度を町内から広めていくため、無認可保育園や幼稚園、学童保育などの巡回を行っていき、町の特産品などをPRしていく機会を多く 持つ。 ・関連グッズを利用して、アンケートを収集したり、南風原町の観光事業の推進企画やイベントなどに利用し、情報収集や、事業の告知・情報発信に活用していく。 ・南風原町の観光情報を一元化して宣伝案内できるような施設づくりができたので、情報を収集し、新鮮な情報を提供できる基盤をつくる。交流の場になれるよう、 2ヶ月に1度は体験イベントを行い、集客を図る。 ・物産展では南風原町のいいものを広めるため、継続して開催する。開催内容は実行委員会で決定し、ニーズに合わせた新しい物産提供も常に考えていく。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
51,382	51,382	41,105	10,277	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、入札方式により選定しており、選定方法及び価格は妥当であったと考えている。南風原の酒製作においても、本町に唯一酒蔵をおいている事業所のため、委託事業所として妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算の状況の説明のとおり予算を減額となっているが、事業内容に基づく事業執行を行うためのものであり、また支出先の選定は、上記説明のとおり妥当であると判断していることから予算規模は適正であると判断する。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○使途については、支出等に関する書類により確認し、適正であった。

市町村名	南風原町						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2－⑰		南風原町観光駐車場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－ウ	
担当部課名	経済建設部 都市整備課		事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ体制の整備	
事業内容	琉球紉の産地である南風原町本部地区にある『かすりの道』や『かすり会館』といった観光地へ自動車や観光バスで訪れた方々が、周辺散策の拠点として活用できるように、観光用駐車場の確保・整備を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	48,000	-			
		(b)予算現額	50,381	-			
		(c)増減額(b-a)	2,381	-			
		(d)繰越額	-	14,876			
		A. 計(b+d)	50,381	14,876			
	B. 執行済額		35,375	14,676			
	うち交付金充当額		28,300	11,700			
	次年度繰越額		14,876	-			
	執行率（％）(B/A)		70.2%	98.7%			
予算の状況の説明		当初計画用地の地権者との用地交渉を進めてきたが了解が得られずに計画用地の変更が生じた為、当該傾斜地における擁壁構造物等の工事費増が生じ費用を増額した。 また、取得用地の登記手続きや構造物等の設計変更が生じたため修正設計に時間を要し、工事発注が遅れたため次年度に繰越を行った。 事業は計画どおり執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
				25年度	26年度	27年度	28年度
	実施設計、用地買収、駐車場アスファルト舗装、排水工、擁壁工、区画線工、防護柵工の実施	目 標	(実施設計の実施)	()	()	()	
		実 績	観光駐車場の整備				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	琉球紉の産地である南風原町本部地区にある『かすりの道』や『かすり会館』といった観光地へ自動車や観光バスで訪れた方々が、周辺散策の拠点として活用できるように、観光駐車場の実施設計、用地買収、駐車場整備工事を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	南風原町観光駐車場整備の完了	目 標	()	(整備の完了)	()	()	()
		実 績		整備の完了			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	南風原町観光駐車場整備工事は、平成26年度に繰越して平成26年7月に完了検査を受け事業が完了した。駐車場の整備が完了したことにより琉球紉の産地である南風原町本部地区にある『かすりの道』や『かすり会館』等の観光地へ訪れた方々が周辺散策を行う際の拠点として活用することができる。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・観光駐車場整備が完了したことで、隣接するかすりの道散策や字本部でのイベントで、観光駐車場を利用していたがグーグルや、ネット上に「観光駐車場」の掲載が無く、ナビでの誘導ができなかった。	・南風原町、観光協会のホームページに掲載することや、ナビに掲載してもらうための検証が必要になってくる。また、イベント等のポスターなどにも観光駐車場の利用を促す掲載をしていく。
今後の取り組み方針		
・多くの観光客に利用していただけるよう、ホームページに掲載、イベントポスターの活用も行っていく。 ・観光客が「また南風原町にきたい」と思ってもらえるよう、安心・安全にそして、好印象を与えるため、清掃や近隣の景観を高めることを行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
南風原町 50,051千円 役務費 232千円 (有) 平良不動産鑑定事務所 232千円 （ 駐車場用地取得にかかる不動産鑑定手数料 ） 委託費 1,291千円 (株) 南城技術開発 1,291千円 （ 駐車場整備にかかる委託業務費 ） 公有財産購入費 26,604千円 地権者 18名 26,604千円 （ 駐車場整備にかかる用地取得費 ） 工事請負費 21,924千円 (有) 咲尚建設 21,924千円 （ 観光駐車場整備にかかる工事費 ）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>50,051</td><td>50,051</td><td>40,000</td><td>10,051</td><td>0</td></tr> </table>		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	50,051	50,051	40,000	10,051	0			
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
50,051	50,051	40,000	10,051	0										
評価	点 検 項 目	評価に関する説明												
資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託業務については、本町契約規則により、3社見積もりによる随意契約を行った。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○土木工事設計要領、土木工事標準積算基準書(沖縄県土木建築部)により設計及び整備をおこなっており予算規模は事業内容に見合った適性なものと判断する。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											

市町村名	南風原町						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑧	南風原文化センター収蔵庫増改築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ	
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化活動を支える基盤の形成		
事業内容	南風原町文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料データベース化業務とあわせて、資料の保存環境を整備して公開活用の幅を広げつつ後世へと継承する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	42,735	—			
		(b)予算現額	42,735	—			
		(c)増減額(b-a)	0	—			
		(d)繰越額	—	27,372			
		A. 計(b+d)	42,735	27,372			
	B. 執行済額		15,363	26,822			
	うち交付金充当額		12,290	21,458			
	次年度繰越額		27,372	—			
	執行率(%) (B/A)		35.9%	98.0%			
予算の状況の説明		既存施設と増床部分の構造計画や排煙窓、階段及び資料配架の位置など全体計画に時間を要したため、平成26年度に繰越を行った。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	設計監理業務委託発注	目 標	(設計監理業務委託発注)	()	()	()	
		実 績	設計監理管理業務完了				
	工事業務発注	目 標	(工事業務発注)	()	()	()	
		実 績	工事業務完了				
達成状況説明	・設計監理業務も平成26年度に繰越をおこなったが、適正に完了することができた。 ・設計変更に伴い、全体計画に時間を要したため平成26年度に繰越をおこなったが、適正に完了することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	収蔵庫3階の増築とリフト及び空調機器の設置	目 標	()	(増築とリフト及び空調機器の設置)	()	()	()
		実 績		増築とリフト及び空調機器設置完了			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・収蔵庫の増築とリフト及び空調機器設置が繰越して平成26年8月に完了検査を受け事業が完了した。資料の保管容量が増加したので資料のデータベース化とあわせて企画展での活用が期待できる。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	- 資料の保存環境を整備して公開活用の幅を広げ後世へと継承するため、収蔵庫の増築や空調設備などの保存環境改善を行った。収蔵資料のデータベース化も進み保存環境も改善されたことから資料の検索が容易になった。 - 床の資材変更により設計変更したため繰越事業となったが、活動目標、成果目標ともに目標を達成することができた。	貴重な歴史資料は、資料の公開活用事業によってデータベース化が進んでいる。保存環境が改善されたことで企画展などでの資料活用がスムーズに実施できる。
今後の取り組み方針		
寄贈や発掘された資料などの歴史資料をデータベース化により管理を容易にしながら、戦争遺物の及び各種資料を公開活用できるように取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>42,185</td><td>42,185</td><td>33,748</td><td>8,437</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	42,185	42,185	33,748	8,437	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
42,185	42,185	33,748	8,437	0										
南風原町 42,185千円 委託料 3,165千円 (有) 明和設計 1,869千円 (有) 明和設計 1,296千円 工事請負費 39,020千円 工事請負費 39,020千円 〔 収蔵庫増改築設計委託 〕 〔 収蔵庫増改築管理委託 〕 〔 収蔵庫増改築工事 〕														
資金の流 使途の流 点検 点検 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	- 支出先の選定方法については本町契約規則に基づき、指名競争入札、3社見積による随意契約により選定しており、妥当であったと考える。 - 予算規模、費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												